

ニューBMW 4 シリーズ クーペ

目次



1. ニューBMW 4 シリーズ クーペ	
ハイライト	2
2. デザイン:	
個性的でスポーティなデザインが放つパーフェクトな美しさ	5
3. ドライビング・ダイナミクス:	
アクティブな走りを実現するスポーティなハンドリング特性	10
4. パワートレイン:	
最高の運動性能をもたらすパワフルなエンジン	14
5. BMW EfficientDynamics:	
よりクリーンに、よりパワーを.....	17
6. BMW コネクテッド・ドライブ:	
快適性と安全性を高める多様なモビリティ・サービスと、 新しいドライバー・アシスタント・システム	19
7. 主要諸元.....	23

1. ニューBMW 4 シリーズ クーペ ハイライト



ニューBMW 4 シリーズ クーペの導入により、BMW の新たなクーペの時代が始まります。スポーティ・ミドルクラス・クーペ・シリーズの第四世代であるニューBMW 4 シリーズ クーペは、プレミアム・セグメントにおける美しさと運動性能を表す代表的なモデルです。そのデザインは、見るものにパワフルな存在感、傑出した運動性能、そして駆けぬける歓びを予感させます。完璧にバランスのとれたプロポーションを持つニューBMW 4 シリーズ クーペは、その開発作業がついに頂点に達したことを告げています。モデル名に刻まれた「4」という数字は、これが新時代のクーペであること伝えると同時に、モデル独自のデザインやオプション装備品のフル LED 式ヘッドライトなどが与えられ、BMW 3 シリーズとは技術的に差別化されたクルマであることを強調しています。

ニューBMW 4 シリーズ クーペは、先代の BMW 3 シリーズ クーペよりも全幅とホイールベースが大幅に拡大され、スポーティに伸びるクーペ・シルエットも極めてフラットなフォルムとなっています。また、ニューBMW 4 シリーズ クーペの非の打ちどころのないバランスの良さには、BMW 特有のショート・オーバーハング、ロング・エンジン・フード、後方に寄せられたキャビン、流れるようなルーフ・ラインが貢献しています。ダブル・キドニー・グリル、片側 2 灯式ヘッドライト、フロント・エプロンの大きなエア・インテークなど、BMW 特有のデザイン的特徴を備えた印象的なフロント・エンドは、BMW 3 シリーズ・ファミリーとのつながりを意図的に表現していますが、ニューBMW 4 シリーズ クーペのスポーティな印象を強調することで、ダイナミックなスタイルを際立させています。BMW 4 シリーズ クーペには、新しくフロント・ホイール・アーチ後方にエア・ブリーザーと呼ぶエレメントを設けており、これによってホイール・ハウス付近の空気抵抗を減少させます。水平のラインが強調されたフラットなデザインのリヤ・エンドでは、たくましい形状のホイール・アーチとワイドなトレッドによって、低く身構えるような姿勢が強調されています。

インテリアにもエクステリアにも独自性を表現できるデザイン・ライン

BMW 4 シリーズ クーペのインテリアには、スポーティな印象とエクスクルーシブな味わいがスタイリッシュに融合しています。走りに関連する操作はすべてドライバー周囲の人間工学的に最適な位置にまとめて配置されており、あらゆる重要な機能を快適に操作できます。ドアのすべてのラインはリヤに向けて集まって行くようにデザインされており、それにより空間が前方に伸びるような印象を与えています。後席の居住空間では、特徴的なバケット形状のシートがニューBMW 4 シリーズ クーペのスポーティなキャラクターを強調しています。バックレストに埋め込まれたような形状のヘッドレストとワイドなサイド・サポートが、後席のシートを 2 人掛けのシングル・シートのように見せています。そしていずれも上質な素材を使用して卓越したワークマンシップが施され、ニューBMW 4 シリーズ クーペのプレミアムな雰囲気さをさらに強調しています。また基本装備の他に、スポーツ・ライン、モダン・ライン、ラグジュアリー・ラインの 3 種類の組み合わせによるデザイン・ラインと M スポーツ・パッケージを用意しており、エクステリアとインテリアを独自にカスタマイズすることができます。

トップ・レベルの運動性能

ニューBMW 4 シリーズ クーペは、優れた運動性能と卓越したハンドリング特性によって、アクティブな走りを実現します。BMW のエンジニアは、ニューBMW 4 シリーズ クーペにおいてステアリングの正確さ、軽快感、俊敏性といった特性を大幅に改善し、純粋なドライビング・マシンとしての特徴をさらに強化することに成功しました。これを実現するためにはさらに、高度なサスペンション技術、駆動力の影響を受けない電動パワー・ステアリング、バランスの良い 50:50 の前後軸荷重配分、風洞試験で精密調整された空力特性、革新的な軽量構造のコンセプトなどによる優れた基本特性も貢献しています。

先代モデルよりもホイールベースが延長され、トレッドが拡大されたニューBMW 4 シリーズ クーペは、さらに低重心化も施され（重心位置が 500mm 以下に減少）、BMW の現行モデル・ラインナップ中で最も低重心のモデルとなりました。その結果、ニューBMW 4 シリーズ クーペは BMW の量産モデル中で最もスポーティな一台となり、このセグメントにおける運動性能の新たな基準を打ち立てます。

発売と同時に 1 種類の 6 気筒エンジンと 2 種類の 4 気筒エンジンを用意

このスポーティな 2 ドア・モデルの市場導入時には、直列 6 気筒ガソリン・エンジンを搭載する BMW 435i クーペ、4 気筒ガソリン・エンジンを搭載する BMW 428i クーペ、4 気筒ディーゼル・エンジンを搭載する BMW 420d クーペを用意しています。すべてのエンジンには最新の BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用しており、その出力範囲は 135kW[184ps]~225kW[306ps]をカバーします。この最新のエンジンは、BMW 4 シリーズ クーペに傑出した加速性能としなやかな走りをもたらすだけでなく、インテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトとの組み合わせによって優れた運動性能と燃費性能にも貢献しています。

6 速マニュアル・トランスミッションと 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッション

駆動輪であるリヤ・ホイールへの動力伝達システムは、6 速マニュアル・トランスミッションを標準搭載しています。またすべてのエンジンに対して、ステアリング・ホイールに備えたパドル・スイッチでマニュアル・ギヤ・チェンジも可能な 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションをオプション設定しています。また、発売時には早くも 2 種類のガソリン・エンジンにインテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive をオプションで用意しています。

BMW EfficientDynamics

スポーティな運動性能に加え、突出した経済性もニューBMW 4 シリーズ クーペの駆けぬける喜びに貢献します。この優れた経済性は、BMW の開発戦略である EfficientDynamics によりもたらされたもので、その効果はニュー・モデルのほぼすべての領域に及んでいます。燃費を最適化したガソリン・エンジンとディーゼル・エンジンだけでなく、インテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトや、エア・カーテン、エア・ブリーザーによる空力特性の改善によって最高の効率性を実現しています。こうして最高の運動性能を発揮するためデザインされた BMW 4 シリーズ クーペですが、エンジン・オート・スタート・ストップ機能、ブレーキ・エネルギー回生システム、シフト・ポイント・インジケーター、オンデマンド制御の補機類などの対策によって、優れた燃費と排出ガス特性も実現しています。そのため、ECO PRO モードを使った場合に最大 20 パーセントの燃費削減が可能となっています。

オプション装備のオートマチック・トランスミッションとの組み合わせでは、初めてコースティング・モードも提供されています。ニューBMW 4 シリーズ クーペには、その他にも革新的なテクノロジーとして、プロアクティブ・ドライビング・アシスタントがあります。

BMW コネクテッド・ドライブ

BMW コネクテッド・ドライブの機能として標準装備またはオプション装備で提供されるドライバー・アシスタント・システム／モバイル・サービスの比類ない組み合わせにより、ニューBMW 4 シリーズ クーペは安全性、快適性、インフォテインメントに関しても新たな基準を確立します。新世代モデルのハイライトとしては、3D エLEMENTを使用して高性能かつ鮮明な画像の地図表示が可能なナビゲーション・システム・プロフェッショナル、フル・カラー表示のBMW ヘッドアップ・ディスプレイ、歩行者と衝突する可能性を警告するドライビング・アシスタント・プラス、インテリジェント制御によって対向車の眩惑を防止できるLED ハイビーム・アシスタント、注意力低下モニター付きアクティブ・プロテクション、さらに進化したストップ&ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロールなどがあります。またインフォテインメント分野では、非常に高度なインターフェース・テクノロジーにより、スマートフォンとの接続や数多くのBluetooth オフィス機能の統合が可能になり、フリー・テキスト音声認識機能によるディクテーション(口述筆記)機能も提供されます。



2. デザイン: 個性的でスポーティなデザインが放つ パーフェクトな美しさ

ニューBMW 4シリーズ クーペの登場で、BMWブランドのスポーティ・プレミアム・ミドルクラス・クーペは第四世代に移行します。デトロイトで開催された北米国際自動車ショー (NAIAS) 2013 において、ワールド・プレミアを飾った BMW コンセプト 4 シリーズ クーペ。このコンセプト・モデルによってその一端を覗かせた BMW デザインの新たな方向性が、ついに量産モデルとなって具体化されたのです。ニューBMW 4 シリーズ クーペは、プレミアム・セグメントにおける美しさとスポーティさを具現化する代表的なクルマであり、国際的な競合環境でリーダーシップを発揮する基盤となるモデルです。そしてそのデザインは、最高の存在感、傑出した運動性能、最大限の駆けぬける歓びを予感させます。ニューBMW 4 シリーズ クーペは、完璧にバランスのとれたプロポーションを見せており、同時にその開発作業が頂点に到達したことを示しています。モデル名に刻まれた「4」という数字は、これが新時代のクーペであること伝えると同時に、モデル独自のデザインやさらにスポーティになった運動性能、さらなる高級感を表し、BMW 3 シリーズとは明らかに異なるモデルであることを示しています。さらにこの名称は、BMW 6 シリーズや BMW 8 シリーズといった大型クーペの素晴らしい伝統を受け継いでいることも窺わせます。

アスリートのような優美さ、完璧なプロポーション

ニューBMW 4 シリーズ クーペのダイナミックなプロポーションは、先代モデルである BMW 3 シリーズ クーペから大きく変更された寸法を見てもわかります。全長 (4,638mm) は +26mm の増加ですが、ホイールベース (2,810mm) は +50mm 拡大され、ルーフ・ライン (1,362mm) は -16mm 下がっており、スポーティに延びるクーペ・シルエットをさらに強調しています。BMW 特有のショート・オーバーハング、ロング・エンジン・フード、後方に寄せられたキャビン、流れるようなルーフ・ラインが、非の打ちどころのないバランスのとれたシルエットを実現しています。また全幅が +43mm 拡大して 1,825mm になったことにより、ニューBMW 4 シリーズ クーペのたくましい外観が完成しました。今回初めて、リヤ・ホイール・アーチがボディの最も幅の広い位置となったことで、走りのダイナミックさをはっきりと主張しています。さらに +45mm 拡大されたフロント・トレッド (1,545mm) と、同じく +80mm 拡大されたリヤ・トレッド (1,593mm) が、もともと十分にスポーティであった BMW クーペならではの走行特性をさらに向上させています。

スポーティな輪郭を強調した印象的なフロント・マスク

ダブル・キドニー・グリルや片側 2 灯式ヘッドライトなど、BMW 特有のデザイン的特徴を備えたフロント・エンドによって、ニューBMW 4 シリーズ クーペは一目で BMW のモデルであることが認識できます。フロント・エンドのデザインはニューBMW 4 シリーズ クーペのスポーティな印象を強めてダイナミックさを際立たせており、同時に BMW 3 シリーズ・ファミリーとのつながりを意図的に表現しています。緻密に造形された輪郭線と、これらのラインに区切られたいくつものサーフェスが、印象的なフロント・マスクを形作っています。六角形の輪郭を持つ特徴的な片側 2 灯式のフル LED 式ヘッドライト (オプション装備) と、やや前方に傾斜しているキドニー・グリルが繋がったような一体感を持たせ、BMW 4 シリーズ クーペのたくましさ強調しています。

BMW 4 シリーズ クーペのヘッドライトをつなぐラインの下側には、大型のエア・インテークを備えたフロント・エプロンがあります。ワイドさを強調するデザインで、スポーティな 3 分割のインテークです。このエア・インテークの外縁には、エアロダイナミクスを向上させるエア・カーテンのための縦型のスリットがあります。これによりフロント・ホイール外側の空気の流れを改善し、高速走行時の燃費を削減します。

流れるラインが生み出すスポーティでエレガントなシルエット

力強く張りのあるサーフェスと緻密に流れるようなラインが、ニューBMW 4 シリーズ クーペにアスリートのようなシルエットを生み出しています。クーペ特有の緩やかに流れ落ちるようなルーフ・ラインが、そのまま滑らかにリヤ・エンドへ移行することで伸びやかな印象を生み出し、サイド・ビューのスポーティさをエレガントに表現しています。また、フレームレス・ウインドウを採用して一体感を持たせたフラットなサイド・ウインドウ・デザインと、C ピラー底部に設けられた BMW 特有のスリムなホフマイスター・キンクが、見た目にもダイナミックで張りつめた印象を生み出しています。ウインドウのさらに下では、BMW 3 シリーズでもダブル・スエーじ・ラインとして馴染みのキャラクター・ラインが、特徴的なサイド・シル・ラインと相まってダイナミックなくさび形のボディを強調しています。キャラクター・ライン下部の、リヤ・ホイールのところで小さくなる影の効果が張り出したリヤ・フェンダーにアクセントを与え、さらにこのクルマの運動性能の高さと BMW 特有の後輪駆動方式を強調しています。

BMW 4 シリーズ クーペのフロント・ホイール・アーチの後方には、エア・ブリーザーと呼ぶエレメントを設け、エア・カーテンと組み合わせられてホイール・ハウス周囲の空気抵抗を減少させます。このエア・ブリーザーはスポーティなキャラクターを強調するデザイン的な要素を持つと共に、空力的な革新性を目に見える形で表現するエレメントでもあります。このような手法には、BMW の開発戦略である BMW EfficientDynamics が反映されています。

大きく張り出したホイール・アーチが、よりスポーティになった走りを強力にアピール

ニューBMW 4 シリーズ クーペのパワフルなデザインのリヤ・エンドにも、スポーティなキャラクターが表れています。目を引き付ける水平のラインと外側いっぱい配置されたワイドなテール・ライトが、たくましいホイール・アーチとワイドなトレッドを強調しています。強く寝かされたリヤ・ウインドウがリヤ・エンドを一段と低く見せ、また、はっきりとワイドに張り出すショルダーがボディをさらにパワフルに印象付けています。ニューBMW 4 シリーズ クーペでも特徴的な L 字型のテール・ライトがデザインに調和するよう組み込まれ、サイドのキャラクター・ラインの流れを受け継ぎながら、リヤ・ビューにつながりを作り出しています。

インテリアに漂う高級感、心躍らせる躍動感

ニューBMW 4 シリーズ クーペのインテリアには、スポーティさと高級感がスタイリッシュに融合しています。複数のラインやサーフェスを重ねて巧みに空間を分割するレイヤリングという手法により、前席では助手席の同乗者を決して排除することなく、それでいて BMW 特有のドライバー・オリエンテッドなレイアウトが演出されています。走行に関連する操作部はすべてドライバーの周囲に人間工学に基づいてまとめられているため、あらゆる機能に快適にアクセスできます。オートマチック・ベルト・フィーダー、スポーツ・ステアリング・ホイール、ブラック・パネル・ディスプレイを採用した読み取りやすい丸型メーター、独立型フラット・スクリーンの iDrive 用ディスプレイが、機能性とエレガンスを引き立てます。

快適に操作できるセンター・コンソール上の iDrive タッチ・コントローラーと前席のシートの間に配置され、必要に応じて前後にスライドしたり起こしたりができるアームレストは、操作性と快適性の模範となる完成度を見せています。

ダッシュボードを左右にダイナミックに走る水平なラインが、あたかもドライバーと同乗者を包み込むようにドア・パネルとサイド・パネルまで延び(ダッシュボードとドア・パネルはオプションでツー・トーン・カラーも装備可能)、インテリアに心躍る躍動感をもたらします。さらに、サイドのサーフェスとラインの組み合わせによる相互作用がクーペ特有の長いドアを際立たせ、アクセント・ストリップの流れが前席と後席の居住空間を視覚的に結び付けています。後席空間では、特徴的なくっきりとしたラインでバケット形状を模したシートが、ニューBMW 4 シリーズ クーペのスポーティなキャラクターを強調しています。沈み込むように一体となったヘッドレストとワイドなサイド・サポートは、後席のシートを 2 人掛けのシングル・シートのように見せています。最大限の多様性を提供できるよう、ニューBMW 4 シリーズ クーペの後席バックレストは必要に応じて 40:20:40 の割合で別々に倒すことができるため、様々な状況にも完璧に対応します。中央部分だけをたたむと大きなスルー・ローディング用開口部が表れ、4 人の乗員が座りながら、何セットかのスキーまたはスノーボードを室内に収めたまま移動できます(適合するスキーおよびスノーボードバックは BMW アクサリーに用意)。オプションのコンフォート・アクセス・システムに含まれるスマート・オープナーを使用すれば、トランクリッドに手を触れずに開けることもできます。その場合、リヤ・エンドの中央付近のバンパー下に向けて軽く足をかざすだけでトランクリッドが開きます。

個性的な装備バリエーション

上質な素材の組み合わせ、エクスクルーシブなカラー、卓越したワークマンシップによって生み出されるさまざまな装備バリエーションが、ニューBMW 4 シリーズ クーペのプレミアムな雰囲気強調します。このモデルのややクラシカルなキャラクターを強調する素材やカラー・コンセプトを採用した基本仕様の他に、3 種類の組み合わせからなるデザイン・ラインと、M スポーツ・パッケージが用意されており、エクステリアとインテリアを個性的にカスタマイズすることができます。Sport、Modern、Luxury の 3 つのデザイン・ラインは、それぞれが異なるキャラクターをアピールします。いずれもキドニー・グリルやエア・インテーク、ミラー・カバーやエア・ブリーザーのデザインおよびカラー、サイド・ウインドウ・ストリップの仕様、フロント・エプロンおよびリヤ・エプロンのトリム・ストリップ、ロゴ入りのエントランス・ストリップやフロント・サイド・パネルのモデル・バッジ、アロイ・ホイールのラインナップなど、エクステリアにおける基本装備との差別化を図っています。

Sport: ニューBMW 4 シリーズ クーペのデザイン・ライン Sport は、ハイグロス・ブラック仕上げの印象的なアクセントで躍動感あふれるスタイルを強調します。標準装備でハイグロス・ブラック仕上げとなる B ピラーに加え、サイド・ウインドウを囲むウインドウ・ストリップもハイグロス・ブラック仕様となり、スポーティなキャラクターをさらに強めています。クローム・フレームで縁取られたキドニー・グリルには、ハイグロス・ブラック仕上げの 9 本の特徴的な形状のキドニー・グリル・バーが並び、フロント・エンドにひとときわスポーティで存在感のある印象をもたらします。エアロダイナミクス・エレメントであるフロント・エプロンの 3 つのエア・インテークと、サイドのエア・ブリーザーにはハイグロス・ブラックのアクセントが配されています。

モデルに応じて、ダブル・スポーク・スタイリングの 18 インチまたは 19 インチ(オプション)のライト・アロイ・ホイールが用意され、圧倒するほどのスポーティな魅力を表現します。ニュー BMW 4 シリーズ クーペのデザイン・ライン Sport のリヤ・エンドは、リヤ・エプロンにブラックのトリム・ストリップが配置され、さらにブラックのエグゾースト・カバーが装着されています。インテリアでは、ブラックとレッドによるアクセント・カラーのコントラスト、丸型メーター内側のレッド・トリム・リング、スポーツ・ステアリング・ホイールにあしらわれたレッドのコントラスト・ステッチによって、スポーティな雰囲気演出しています。また希望に応じてコーラル・レッドのレザー・スポーツ・シート、レッドのドア・トリム・パネル、レッドのダッシュボード下部といった装備バリエーションにより、ニュー BMW 4 シリーズ クーペのスポーティな印象をさらに個性的に仕立てることができます。

Luxury: ハイグロス・クロームの上品なアクセントが、ひとときエレガントで高級感のあるフォルムを実現します。フロント側をクローム仕上げ(側面はマット・ブラック仕上げ)された 11 本の繊細なキドニー・グリル・バー、フロント・エプロン左右のエア・インテークに配されたハイグロス・クロームのダブル・バー、そしてクローム仕上げのエア・ブリーザーが、気品あるアクセントとなっています。またハイグロス・クロームの光沢を放つウインドウ・フレームが、魅力的なアクセントになっています。マルチ・スポーク・スタイリングの専用 18 インチまたは 19 インチ(オプション)のライト・アロイ・ホイールが、Luxury の名にふさわしい上品な姿を際立たせます。

BMW 4 シリーズ クーペの Luxury を後ろから見ると、リヤ・エプロンに装着された気品あるハイグロス・クロームのバーとクローム仕上げのエグゾースト・カバーが印象的です。インテリアでも、オーディオおよびエア・コンディショナーの操作パネルにクローム・フレームが装着されるなど、さまざまな箇所でもクロームが輝きを放ちます。ハイグロス仕上げのウッド・トリム、個性的なステッチが施されたレザー・シート、クラシックで優雅な 4 つのカラーから選択できる 2 つのカバー・バリエーションが、このラグジュアリーモデルの個性を引き立てます。さらに BMW 4 シリーズ のみの設定で、アッシュグレイ・アンソラジット・ファイン・ウッド・インテリア・トリムとパール・グロス・クロームのメタル・インレイ・アクセントがオプションで提供されます。

Modern: マット・クローム仕上げの高品質なアクセントが、Modern の洗練された美しさを引き立てます。マット・クローム仕上げの 11 本のバーが付いた BMW キドニー・グリル、エア・ブリーザー、フロント・エア・インテークのフレーム、リヤ・エプロンのトリム・ストリップはサテン・アルミニウム仕上げでアクセントを添えています。標準装備のサテン・アルミニウム仕上げのウインドウ・フレームがサイド・ウインドウを強調しつつ、フロントおよびリヤのアクセント・トリムとも完璧な調和を見せます。タービン・スタイリングの 18 インチまたは 19 インチ(オプション)のライト・アロイ・ホイールが、エクステリアのデザインをエレガントに仕上げています。インテリアでは、明るいカラーのダッシュボードとダーク・オイスターのステアリング・ホイール(両方ともブラックを選択可能)が、独特の空間を作り出しています。オイスターまたはブラックのレザーまたはクロス・レザー・コンビネーション・シート、パール・グロス・クローム・ハイライト付きの 4 種類のインテリア・トリムが、コントラストのある素材の組み合わせによる魅力的な雰囲気を生み出しています。

M Sport パッケージ:ニューBMW 4 シリーズ クーペの卓越したポテンシャルは、M Sport パッケージを選択することでよりはっきりと際立たせることができます。数多くのエクステリア・コンポーネント(大型エア・インテーク付きフロント・エプロン、ディフューザー付きリヤ・バンパー、サイド・シル・カバー)を含むエアロ・ダイナミクス・パッケージと BMW Individual のハイグロス・シャドウ・ラインに加え、希望に応じて提供されるエストリル・ブルー・メタリックの高品位なボディ・カラーが、ひと目で分かるスポーティなスタイルと最大限の存在感を演出します。M デザイン特有の 18 インチまたは 19 インチ(オプション)のライト・アロイ・ホイールも、スポーティな印象をさらに引き立てます。インテリアでは、M エントランス・レール、M レザー・ステアリング・ホイール、M フット・レストなどのコンポーネントが、スポーティでエレガントな雰囲気を作り出します。運転席と助手席のスポーツ・シートは、M スポーツ・パッケージのみに提供されるヘキサゴン／アルカンタラ仕様で、M パイピングとロイヤル・ブルーのコントラスト・ステッチがアクセントを添えています。技術的な装備として、M スポーツ・サスペンション、ブルーのコントラスト塗装を施したオプションの M スポーツ・ブレーキがあります。



3. ドライビング・ダイナミクス: アクティブな走りを実現する スポーティなハンドリング特性

ニューBMW 4 シリーズ クーペは、優れた運動性能と卓越したハンドリング特性によって、アクティブな走りを実現します。このスポーティな 2 ドア・モデルがあらゆる速度やさまざまなに変化する状況でも存分に能力を発揮できるように、そしてスポーツ・クーペに対する極めて高い期待に応えるために、BMW のサスペンションを受け持つエンジニア達はあらゆる手段を講じました。すでに先代モデルで定評のあった正確さ、軽快さ、俊敏性といった特性をさらに磨き上げ、純粹に走るためのマシンとしての特徴をさらに強化することに心血を注ぎました。その結果、ニューBMW 4 シリーズ クーペは BMW の量産モデル・シリーズ中で最もスポーティな一台となり、このセグメントにおける運動性能の新たな基準を打ち立てることになります。

違いを生み出す BMW 特有のセットアップ

フロント・アクスルとリヤ・アクスルにステアリングと駆動という役割を振り分ける BMW ならではのセットアップは、高い運動性能と優れた方向安定性、俊敏なハンドリングという特性を得るための理想的な条件となります。同様に、理想的な 50:50 という前後軸荷重配分を実現しており、この点でもニューBMW 4 シリーズ クーペは競合するモデルの追従を許さない特性を実現しています。さらに極めて低い重心、専用のサスペンション・セットアップ、インテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトによって、熱烈なスポーツ・ドライバーでも十分に満足できる、極めてダイナミックなトータル・パッケージとして仕上がっています。

大幅に下げられた重心位置

ニューBMW 4 シリーズ クーペは先代の BMW 3 シリーズ クーペよりもさらにスポーティさに磨きがかかり、一目見ただけでそれを感じさせる存在感があります。それに寄与しているのは、2,810mm(+50mm)のロング・ホイールベースやフロント 1,545mm、リヤ 1,594mm のワイドなトレッド(+45/+80mm)だけではありません。標準仕様でも現行の BMW 3 シリーズ セダンと比べて 10mm 低いロー・ダウン仕様となり、先代モデルよりも大幅に低い 500mm 以下という重心位置が重要な役割を果たしています。これらのデータからも、ニューBMW 4 シリーズ クーペが卓越したロード・ホールディング、俊敏なハンドリング特性と精密なライン・トレース精度、優れたフィードバックを約束することは明らかです。そしてこのように運動性能を向上させたにもかかわらず、快適性を犠牲にしていないため、このスポーティな 2 ドア・モデルは日常の足としても十分に価値のあるクルマとなっています。

一貫してスポーティな走りを追求

ニューBMW 4 シリーズ クーペのサスペンションは、現行 BMW 3 シリーズ セダンをベースにしています。しかし、スプリングとダンパー、アクスル・キネマティクスやエラスト・キネマティクスに関しては、極めてスポーティな走りを実現する新しいクーペのキャラクターに完璧に適合させています。サスペンション・エンジニア達は、キャンバー、トレッド、ロール・センターなどのセットアップを修正、微調整し、俊敏性と精度をさらに向上させました。また、フロントに特殊なボディ強化エレメントを備え、ステアリングの精度やフィードバックも向上させました。

アンチ・ロール・バー付きダブル・ジョイント・ストラット式フロント・アクスル

ニューBMW 4 シリーズ クーペのフロント・アクスルは、極めて高い剛性を持ちながら、突出した軽量構造になっています。テンション・ストラット、コントロール・アーム、スィベル・ベアリングは全てアルミ製で、バネ下重量を大幅に低減しています。さらに駆動の影響を考慮する必要がないため、ダブル・ジョイント・アクスルの運動学的特性(キネマティクス)を、俊敏性と運動性能を重視したセットアップにすることができました。現行の BMW 3 シリーズ セダンと比べてコントロール・アームの位置をスィベル・ベアリング方向へ移動させたことで、ロール・センターを 19mm 下げることができ、運動性能にプラスに作用します。さらに、フロント・アクスル・キャリアとサイド・シルの間にストラットを追加したことで、フロント・ホイールと車両との接続部の剛性が全体的に強化されました。これによりコーナリング中のハンドル操作で発生する横方向の力がよりダイレクトに車両へと伝わるため、ドライバーのハンドリング操作に対してニューBMW 4 シリーズ クーペは極めてクイックに反応し、全体的によりスポーティで俊敏な走行特性を示すようになりました。ニューBMW クーペは卓越した俊敏なフットワークで、今までにない狙い通りのコーナリングを実現します。

積極的な走りをサポートする 5 リンク式リヤ・アクスル

ニューBMW 4 シリーズ クーペのリヤ・アクスルは、運動性能の向上に関して大きな役割を担っていますが、快適性も犠牲にはしていません。その構造は定評ある 5 リンク・コンセプトをベースにしており、このスポーツ・クーペのために、エラスト・キネマティクス(弾性運動学的配置)の特別なセットアップを採用しています。さらに、トレッドおよびキャンバー用のホイール・キャリアに特大のサポート・ベースを採用し、ピボット・ポイントの位置をわずかに修正し、極めて剛性の高いコントロール・アームとアクスル・キャリアを採用し、サスペンションとボディの接続部にスラスト・アームを使用したことで、極めてスポーティで運動性能を重視するセットアップのための理想的な条件を整えました。そのため、あらゆる状況において正確で卓越したホイール・ガイダンスを実現し、それによる極めて安定した走りを約束します。また、リヤ・アクスル周りに専用の空力対策を施し、運動性能の向上を図っています。

標準装備のサーボトロニック、オプションのバリアブル・スポーツ・ステアリング

ニューBMW 4 シリーズ クーペは、車速感应式パワー・ステアリングのサーボトロニック付き電動パワー・ステアリングを標準装備しています。このモデルのステアリング特性マップは、シャープなハンドリングと明確なフィードバックが得られるように最適に設定されています。さらに、このステアリング・システムの特性でもあるステアリングの正確さ、ライン・トレース精度の高さ、ダイレクトなレスポンスが、クーペらしいスポーティなキャラクターを強調しており、そしてもちろん、ステアリングが駆動力の影響を受けることはありません。ニューBMW 4 シリーズ クーペには、ステアリングの操作量に応じてステアリング・ギヤ・レシオを調整できる、バリアブル・スポーツ・ステアリングをオプションで装備できます。これを選択するとわずかな力でステアリング操作を行え、しかも高速走行では最高の方向安定性が得られ、優れた直進安定性を確保します。さらに、急回避運動の要求される場面などでは優れたハンドリング特性を実現します。

軽量構造の高性能ブレーキ・システム

ニューBMW 4 シリーズ クーペには、高い運動性能に見合ったブレーキ・システムとして、フローティング・キャリパーまたは固定キャリパーに大径ベンチレーテッド・ブレーキ・ディスクを備えた高性能ブレーキ・システムを装備しています。フロント・ブレーキ・キャリパーはアルミ製で、バネ下重量を低減し、熱安定性に優れ、極めて優れたウェット・ブレーキ性能、高い操作快適性、正確な制動力配分といった特徴を備えています。また全モデルに、ブレーキ・パッド摩耗インジケーター、ドライ・ブレーキ機能を標準装備しています。

インテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトと空力的なファイン・チューニング

インテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトは、ニューBMW 4 シリーズ クーペの運動性能に大きく貢献しています。そのために高強度鋼や超高強度多層鋼を使用したり、テールロード・ブラंकを使用したりすることで、重量を増加させることなく最大限のボディ強度を得ています。特に剛性に大きく影響するコンポーネントは、マイクロアロイ鋼製となっています。先代モデルと比べて車両フロントのボディ剛性は60パーセント向上しました。その結果として、俊敏性とステアリング精度が向上しただけではありません。特に注目すべき点は、ニューBMW 4 シリーズ クーペではボディ・サイズが大きくなったにもかかわらず、エンジンや装備にもよりますが、先代モデルよりも最大 45kg もの軽量化を実現しているという事実です。

ニューBMW 4 シリーズ クーペの空力特性が優れていることは、 $C_d = 0.28$ という空気抵抗係数が証明しています。この2ドア・モデルのフロント・エプロンとリヤ・エンドを最適化することで、現行 BMW M3 クーペの水準に匹敵するスポーティな走りにふさわしい揚力係数を実現しています。さらにこの揚力低減には、アンダー・フロアの巧みなレイアウトが大きく貢献しています。この新しいスポーツ・クーペでは、ボディ・サイド下面、エンジン・ルーム・シールド下面、フロント・エグゾースト・トンネル付近のアンダー・カバーを拡大させ、かつ平滑化することで空気の流れを最適化するアンダー・フロア構造を採用しています。これにより、全体としてこれまで以上に高い密閉性を実現しています。

エア・カーテンとエア・ブリーザー

空力的なファイン・チューニングは、ボディのあらゆる部分で行っています。最近の BMW モデルに特有のフロント・エプロンのエア・カーテンは、文字通り空気でカーテンのように膜を作ることでフロント・ホイール付近の乱気流と空気抵抗を抑えます。その他にエアロダイナミクスを考慮したホイール・アーチやその前に取り付けられたラムエア・リップも、ニューBMW 4 シリーズ クーペの空力特性の向上に貢献しています。新しいエレメントのエア・ブリーザーは、フロント・ホイール・アーチ後方に流れこむ空気の一部の方向を変えることで空気抵抗を減少させます。エア・ブリーザーは、エア・カーテンと組み合わせると特に効果的に作用します。

M スポーツ・サスペンション、アダプティブ・サスペンション、M スポーツ・ブレーキ

M スポーツ・パッケージに含まれる M スポーツ・サスペンションは、個別に装備することもできます。このサスペンションには固めのスプリング／ダンパー・セットアップが施され、より剛性の高いスタビライザーを装備しています。またアクセル・キネマティクスやエラスト・キネマティクスに関しても、ニューBMW 4 シリーズ クーペ専用のセットアップとなっています。M スポーツ・サスペンションには、18 インチまたは 19 インチ(オプション)の M ライト・アロイ・ホイールが含まれます。そのほかの選択肢として、ロー・ダウン仕様で特にスポーティなセットアップが施され、ダンパー特性曲線を路面状況や走行状態に合わせて選択できる電子制御ダンパー付きのアダプティブ・サスペンションを用意しています。その他には、ドライバーがサスペンションの基本調整をスポーツ志向に、あるいは快適性重視の設定に調整することができるドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチがあります。スポーティな走りがお好みのお客様には、M スポーツ・ブレーキを用意しています。アルミ製固定キャリパー(フロントが 4 ピストン、リヤが 2 ピストン)を備え、大径ブレーキ・ディスクを装備した高性能ブレーキは、極めて軽量ながら非常に短い制動停止距離を実現します。

ECO PRO モード付きドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチ: ボタンひとつでスポーティにも燃費志向にも対応

ニューBMW 4 シリーズ クーペでも、走行状況や個人の好みに応じて車両の全般的な特性をスポーツ志向に、あるいは快適性重視に変更することができます。各走行モードの選択は、センター・コンソールに装備された ECO PRO モード付きドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチで行います。ドライバーが ECO PRO、COMFORT、SPORT、あるいは SPORT+(スポーツ・ラインまたは M スポーツ・パッケージとの組み合わせでのみ選択可能)のいずれかのモードを選ぶと、あらかじめ設定されているドライブ・トレインおよびサスペンション・コンポーネントの設定が呼び出されます。

たとえば、SPORT モードを選ぶと、ニューBMW 4 シリーズ クーペはドライバーのアクセル操作に敏感に反応して駆動力に変換し、また明らかに体感できるほどダイレクトなステアリング特性に切り替わります。オートマチック・トランスミッションと組み合わせれば、シフト・ポイントも大幅にスポーティな設定に切り替わります。また装備に応じて、ドライブ・トレインとサスペンション・コンポーネントをそれぞれ独立して設定することも可能です。SPORT+モードでは、ダイナミック・スタビリティ・コントロールの制御限界値を引き上げ、同時にダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)モードが作動します。この場合、リヤ・アクスル・ディファレンシャルの電子ロック機能によって、コーナリング中やコーナー出口で特にスポーティな加速を実現できます。



4. パワートレイン: 最高の運動性能をもたらす パワフルなエンジン

クーペを所有するということは、エレガントなライン、スポーティなパフォーマンス、高い運動性能に対して情熱を燃やすドライバーであると表明することでもあります。ニューBMW 4 シリーズ クーペは、最新技術を駆使したパワートレインによって、積極的に走りを楽しみたいという高い期待にも応えます。

フロントに直列エンジンを縦置き搭載し、後輪で駆動するという駆動方式は、BMW が自信を持って採用し続ける由緒正しき駆動コンセプトであり、最上級の駆けぬける歓びを約束します。ニューBMW 4 シリーズ クーペに用意されたすべてのエンジンは、スポーティな出力特性と理想的な効率の良さを両立する BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用しています。また、全てのエンジンが EU6 排出ガス基準をクリアしています。市場導入時には、直列 6 気筒ガソリン・エンジンを搭載する BMW 435i クーペ、直列 4 気筒ガソリン・エンジンを搭載する BMW 428i クーペ、直列 4 気筒ディーゼル・エンジンを搭載する BMW 420d クーペが用意されています。BMW 4 シリーズ クーペの最新型エンジンは、傑出した加速性能としなやかさを実現しただけでなく、インテリジェント・ライトウェイト構造コンセプトとの組み合わせで、運動性能と燃費のさらなる向上を同時に達成しました。

駆動力の伝達は、標準装備の 6 速マニュアル・トランスミッションで行われ、さらに全てのエンジンにオプションで 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションを組み合わせることもできます。どちらのトランスミッションも、無駄な燃料消費を抑えるエンジン・オート・スタート・ストップ機能を装備しています。モデル発売と同時に、早くも 2 種類のガソリン・エンジン・モデルにオプションでインテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive を用意しています。

トップ・アスリート:BMW 435i クーペの直列 6 気筒エンジン

ニューBMW 435i クーペは、胸のすく吹け上がり、特有の滑らかさ、卓越した作動特性、そして理想的な効率の高さを実現する直列 6 気筒ガソリン・エンジンにより、スポーティさを求めてやまないドライバーでも完璧に満足させます。高精度ダイレクト・インジェクション・システムと無段階可変バルブ・コントロール・システムのバルブトロニックを搭載し、アルミ製クランクケースを備えた 3.0 リッター・エンジンは、最高出力 225kW[306ps] / 5,800~6,000rpm を発生します。またわずか 1,200rpm のエンジン回転数からすでに 400Nm の最大トルクを発生し、そのまま 5,000rpm まで維持します。そのパフォーマンスは、これらの数字上のデータだけではわからない、突出した運動性能を約束します。この強力な 6 気筒エンジンのスポーティな出力特性により、ニューBMW 435i クーペは発進から 100km/h までをわずか 5.4 秒 (xDrive の場合はさらにわずか 4.9 秒) で加速し、最高速度は 250km/h で電子的に制限されます。その感動的な走行性能にもかかわらずこの 6 気筒エンジンは極めて低燃費で、発生する有害物質もわずかです。EU テスト・サイクルによる 100km 走行あたりの平均燃費は 7.9~8.1 リッターで、1km 走行あたりの CO₂ 排出量は 185g~189g です (装着したタイヤによって異なる)。オプションの 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションと組み合わせでは、ニューBMW 435i クーペはさらに優れたデータを実現し、モデル・シリーズ中のトップ・モデルでありながら、わずか 7.3~7.4 リッター/100km の複合サイクル燃費と 169g/km~172g/km の CO₂ 排出量を達成します。

軽量で高出力:BMW 428i クーペの 4 気筒エンジン

素晴らしい吹け上がり、高トルク、高い最高回転数、軽量といった重要な特性を持つ排気量 2.0 リッターの直列 4 気筒ターボ・エンジンは、ニューBMW 4 シリーズ クーペの運動性能コンセプトに完璧に適合しています。このエンジンも、高精度ダイレクト・インジェクション・システム、ツイン・スクロール・ターボ過給システム、可変カムシャフト・コントロール・システムのダブル VANOS、無段階可変バルブ・コントロール・システムのバルブトロニックによる BMW ならではのテクノロジー・パッケージによって潜在的なパワーを高め、同時に燃費と排出ガスを削減しています。

この最新の 4 気筒ガソリン・エンジンは、最高出力 180 kW[245ps] / 5,000~6,500rpm を発生し、1,250~4,800rpm のエンジン回転数域で 350Nm の最大トルクを発揮します。このような出力特性のおかげで、ニューBMW 428i クーペは 0-100km/h までをわずか 5.9 秒で駆けぬけ、最高速度は 250km/h に達します(電子的に制限)。このエンジンは、ドライバーのアクセル操作をすぐさま駆動力に変換し、アイドリング回転数のすぐ上から素晴らしい吹け上がりを見せ、高回転域に達するまでほぼ途切れることなくそれが続きます。BMW 428i クーペの EU テスト・サイクルにおける平均燃費はわずか 6.6~6.7 リッター/100km、CO₂ 排出量は 154g/km~156g/km と同様に優れたデータを実現します(装着したタイヤによって異なる)。もちろん、BMW 428i クーペにオプションの 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションを搭載すればさらなる燃費削減も可能で、複合サイクル燃費で 6.3~6.4 リッター/100km、CO₂ 排出量は 147g/km~149g/km を実現します。

パワフルで効率的:BMW 420d クーペの 4 気筒ディーゼル・エンジン

BMW はすでに何年も前に、クーペにディーゼル・エンジンを搭載することが極めて魅力的な選択肢になり得ることを証明しています。現在では、このエンジン・バリエーションがクーペのスポーティな走りの妨げになることはないとは広く認められています。ニューBMW 420d クーペの最新世代の 4 気筒ディーゼル・エンジンも、アクティブな走りを損なうことなく、高トルク、理想的な作動特性、卓越した効率性を実現します。アルミ製クランクケースを採用した最新のディーゼル・エンジンは、さまざまな点で基準を打ち立てました。最新世代のコモンレール式ダイレクト・インジェクション、可変タービン・ジオメトリー式ターボ・チャージャー、高精度の電磁バルブ式インジェクターが、燃費と排出ガスを大幅に削減し、同時にレスポンスの良さと強力な駆動力を生み出します。

最高出力 135kW[184ps]/4,000rpm と最大トルク 380Nm/1,750~2,750rpm を発生するニューBMW 420d クーペは、極めてダイナミックな走りが可能です。発進から 100km/h までの加速はわずか 7.5 秒で、必要に応じてこの俊敏なディーゼル・エンジンが最高 240km/h まで加速します。平均燃費は 4.7~4.8 リッター/100km で、CO₂ 排出量は 124g/km~126g/km(EU テスト・サイクル、装着したタイヤによって異なる)を記録し、このクラスで最もクリーンで低燃費のディーゼル・エンジンを搭載するニューBMW 420d クーペは、高性能かつ高効率なアスリートの姿を見せつけます。

標準装備の 6 速マニュアル・トランスミッション

軽快なギヤ・チェンジ、正確なシフト・ストローク、最適化されたギヤ・レシオが、スポーティなニューBMW 4 シリーズ クーペの 6 速マニュアル・トランスミッションの特徴です。スポーティで意欲的なドライバーにとって、エンジン・パワーを推進力に変えるインターフェースは、その運動性能を最大限に駆使するために重要な役割を果たします。このマニュアル・ギアボックスは、高性能なシフト・クオリティによって、俊敏な発進加速と素早い追越し加速を実現し、さらに燃料消費量を削減するためにも貢献します。

オプションの 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッション

ギヤ段数が増え、非常にスピーディなギヤ・シフトで、優れたシフト快適性を実現するこの高性能 8 速オートマチック・トランスミッションは、ニューBMW 4 シリーズ クーペのダイナミックなコンセプトに完璧に適合します。変速の際の回転数の変化が小さくなるため、ほぼすべての走行条件で常に最適なギヤ比を利用することができます。この 8 速オートマチック・トランスミッションの数多くの革新技术と驚くほど高い内部効率が、マニュアル・トランスミッションをも上回るほどの低燃費を実現しながら、力強い加速と卓越した中間加速を実現しています。また、インテリジェント・コントロールや卓越した制御マネジメントによって、極めて短いシフト時間と応答時間、さらに目的のギヤへのダイレクト・シフトを可能にしています。そのため、ステアリング・ホイールのパドル・スイッチでギヤ・シフトすることを好む熱烈的なスポーツ・ドライバーの要求さえも完全に満足させます。ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチにより、ノーマル・モードとスポーツ モードの選択も行えます。

BMW xDrive: オプションのインテリジェント四輪駆動システム

BMW 435i クーペと BMW 428i クーペには、伝統的な後輪駆動方式に代えて、インテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive を選択することもできます。優れたトラクション、最大限の安全性、路面への最適な駆動力伝達といった四輪駆動特有のベネフィットに加え、BMW xDrive はコーナリングの際に起こり得るオーバー・ステアやアンダー・ステアを抑え、それによりコーナリング時のハンドル操作あるいはコーナー出口での急加速などの際に、俊敏性とライン・トレース精度を向上させます。また突然の負荷変動が生じた場合でも、この四輪駆動システムがそれを楽々と補正し、その結果ニューBMW 4 シリーズ クーペの運動性能をさらに高めます。

今秋発売: BMW 420i クーペ、BMW 430d クーペ、BMW 435d クーペ、さらに 2 つの BMW xDrive モデルも追加

年末までに、BMW はニュー4 シリーズ クーペのエンジン・ラインナップにガソリン・エンジン 1 種類とパワフルなスポーツ・ディーゼル・エンジン 2 種類を追加する予定です。BMW 420i クーペは出力 135kW[184ps]で、希望に応じてインテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive と組み合わせることが可能です。BMW xDrive は、秋以降に BMW 420d クーペ向けも提供されます。また、極めて大きなトルクと最高の効率性を実現する 2 つの 6 気筒ディーゼル・エンジンで、BMW 4 シリーズ クーペにさらなる運動性能をもたらします。BMW 430d クーペは出力 190kW[258ps]、最大トルク 560Nm を発生させます。BMW 435d クーペ (xDrive モデルのみ) は最上位のエンジン・バリエーションとなり、最高出力 230kW[313ps]、最大トルク 630Nm を発生するこのトップ・モデルは、ディーゼル・エンジン搭載のスポーティ・クーペに新たな基準を確立します。

5. BMW EfficientDynamics: よりクリーンに、よりパワーを



高い運動性能だけでなく、その突出した経済性も、ニューBMW 4 シリーズ クーペの駆けぬける歓びの魅力に貢献します。この優れた経済性は、BMW の EfficientDynamics 開発戦略によりもたらされたものであり、その効果はこのスポーツィ2ドア・モデルのほぼ全ての領域に及んでいます。ガソリン・エンジンとディーゼル・エンジンの燃費向上以外にも、高効率トランスミッション、インテリジェント・ライトウェイト構造、空力特性の最適化などの効率化処置により、ニューBMW 4 シリーズ クーペはスポーツィでダイナミックなクオリティだけでなく、優れた燃費や排出ガス特性も達成しています。

最新のガソリン・エンジンとディーゼル・エンジン: 出力と効率性の完璧な融合

BMW 4 シリーズ クーペに搭載されるガソリン・エンジンは、最高レベルの出力、トルク特性と滑らかな作動特性に優れ、同時に比類ない効率性も実現しています。このエンジンは、数々の革新的な技術を採用した完璧なテクノロジー・パッケージとなっています。例えば、ツイン・スクロール方式のターボ過給システムを採用した BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー、高精度ダイレクト・インジェクション・システム、可変カムシャフト制御システムのダブル VANOS、無段階可変バルブ・リフト量制御システムのバルブトロニックがあります。その他にもこのエンジンは摩擦特性を最適化し、軽量オールアルミ製クランクケースを装備しています。

BMW ツインパワー・ターボ・ディーゼル・エンジンもまた、BMW の駆動技術のレベルの高さを示しています。最新世代のコモンレール式ダイレクト・インジェクション、ターボ・チャージャー、オール・アルミニウム構造を採用し、大きなトルク、洗練されたスムーズな回転、圧倒的な効率性を誇ります。このディーゼル・エンジンには、さらにディーゼル微粒子フィルター、酸化触媒コンバーターに NOx 吸着触媒を組み合わせた先進技術の BMW ブルー・パフォーマンス・テクノロジーを採用しています。この技術により、ディーゼル・エンジンもすでに現時点で EU6 排出ガス基準をクリアしています。

駆動力伝達を最適化し、さらに節約:

6 速マニュアル・トランスミッションと 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッション

6 速マニュアル・トランスミッションか、あるいは 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションか、どちらのトランスミッションも効率性が向上し、コンパクトな構造、軽量化に特徴があります。8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションは、コンバーターのスリップを最低限に抑え、内部効率を高め、摩擦損失を削減し、インテリジェント・トランスミッション制御により大幅な燃費削減を可能にしています。そのためニューBMW 4 シリーズ クーペは、オートマチック・トランスミッションを搭載した場合でも燃費と排出ガスに関して、マニュアル・トランスミッションと同等か、あるいはそれ以上の優れた性能を発揮します。

オート・スタート・ストップ機能、ブレーキ・エネルギー回生システム、ECO PRO モード、コースティング・モード、プロアクティブ・ドライビング・アシスタント

ニューBMW 4 シリーズ クーペには、オート・スタート・ストップ機能を標準装備しています。これは、新しい 8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションと組み合わせることもできます。同じく標準装備のブレーキ・エネルギー回生システムは、可能な限り惰性走行時やブレーキング時にバッテリーを充電するための発電を行います。特に ECO PRO モードでは、BMW 4 シリーズ クーペのドライバーは効率的で低燃費の走行が行えます。アクセル・ペダル特性曲線とエンジン・マネジメントを適切に調整する他、エネルギー・マネジメントやクライメート・マネジメントもインテリジェントに制御します。さらにコントロール・ユニットから走行状況に応じて、ドライバーの運転スタイルを燃費の良い方法へと導くためのヒントやアドバイスが表示されます。オプション装備のオートマチック・トランスミッションとの組み合わせで、初めてコースティング・モードも提供されるようになりました。ECO PRO モードでは、車速が約 50~160km/h のときに、ドライバーがアクセル・ペダルから足を放すとドライブ・トレインの連結を解除します。その結果、車両はエンジン・ブレーキ・トルクの影響を受けずに、最低限の燃料消費で惰性走行(コースティング)ができます。BMW 4 シリーズ クーペに搭載されるその他の革新技术としては、プロアクティブ・ドライビング・アシスタント機能があります。この機能は、燃費向上につながるよう、カーブや制限速度区域、市街地、ロータリー交差点に入る前の減速する最適なタイミングをドライバーに示すことができます。

オンデマンド制御の補機がエネルギーを節約

ニューBMW 4 シリーズ クーペのインテリジェント・エネルギー・マネジメントには、補機類の制御も貢献しています。その中には、オンデマンド制御のクーラント・ポンプ、特性マップ制御式オイル・ポンプ、電動パワー・ステアリングも含まれます。このステアリング・システムは、実際にパワー・アシストが必要なときにのみ、電気エネルギーを使ってサポートします。また分離クラッチ付きのエア・コンディショナー用コンプレッサーもこれに貢献します。エアコンを使用しないときはエンジンの駆動からベルト・ドライブが切り離され、出力損失を最小限に抑えます。

インテリジェント・ライトウェイト構造で燃費と CO₂ 排出量をさらに削減

軽量素材の利用によるライトウェイト構造は、効率性と俊敏性に大きく貢献し、BMW ならではの高い運動性能にも良い影響をもたらします。BMW は車両開発のすべての分野においてインテリジェント・ライトウェイト構造を採り入れ、そのコンセプトはすべてのコンポーネントにも徹底して反映されています。プラスチックや最新の複合材料を使うだけでなく、エンジンおよびシャシー構造に積極的にアルミニウム・コンポーネントを使用することで、該当するアセンブリーの重量を削減することができました。ニューBMW 4 シリーズ クーペにおけるその成果は、寸法が大きくなったにもかかわらず、先代モデルより 20~45kg もの軽量化に成功している点に表れています。

6. BMW コネクテッド・ドライブ:

快適性と安全性を高める多様なモビリティ・サービス と、新しいドライバー・アシスタント・システム



新しい機能として、また標準装備やオプション装備として提供するドライバー・アシスタント・システムおよびモビリティ・サービスは、その比類ない組み合わせにより、BMW コネクテッド・ドライブの技術的な卓越性を改めて実証し、ニューBMW 4 シリーズ クーペの革新性といった個性を強調します。乗員、車両、自動車を取り巻く環境をインテリジェントなネットワークで結び付けることにより、最高レベルの快適性、エン터테인먼트、安全性を提供します。

ナビゲーション・システム・プロフェッショナル: タッチ・コントローラーによる操作が可能に

新世代のナビゲーション・システム・プロフェッショナルは、新しいデザインと操作性の向上を実現しています。このシステムは機能性が大幅に向上し、高解像度でくっきりとしたコントラストのカラー・ディスプレイを装備しました。また定評あるメニュー・ガイド方式はそのままに、さらに多くの機能が追加されました。これまでのユーザー・インターフェースはグラフィック全体を見直し、ナビゲーション用マップは 3D エLEMENT 表示が可能になりました。ダッシュボード中央に配置されるコントロール・ディスプレイの操作は、人間工学的に完璧な位置に配置されたセンター・コンソールの iDrive タッチ・コントローラーを使用して、お馴染みの方法で行います。また、コントローラー表面に新たにタッチ・センサーと近接センサーを組み込んで、さらに簡単な操作のできるタッチ・コントローラーとして完成させました。例えばタッチパッド上に指で文字を書くことで、テキスト入力画面に入力できるようになりました。その際、いつでも手書きと従来の入力方法(回して押す)を切り替えることもできます。また、ナビゲーション・システム・プロフェッショナルのインタラクティブ・マップでは、タッチパッドをつかってリング状のカーソルを移動させることができます。これにより、登録地点を選択するときなどに、より直観的で効率的な操作を実現しています。

渋滞を賢く回避: リアルタイム・トラフィック・インフォメーション(RTTI)。

オプションのリアルタイム交通情報システム(RTTI)は、車両に内蔵された SIM カードとモバイル無線を利用して、非常に高速で広範囲にわたるデータ伝送を実現します。ナビゲーションのルート計算や状況に応じた推奨迂回路に使用するリアルタイム交通情報は高い信頼性と正確さで提供されます。RTTI は、高速道路や幹線道路、市街地の主要道路、支線道路も検知できます。さらに、ドライバーが交通の状況について正確な情報を得られるように、データ収集には該当地域の交通管理システムも使用します。地図上の道路のカラー・マークは実際の交通の流れを可視化したものです。数分ごとに情報は更新され、ヨーロッパ中の国々が含まれる、常に拡張を続ける道路ネットワークをカバーします。

卓越したカラーと解像度：ヘッドアップ・ディスプレイ

新世代のマルチ・カラー・ヘッドアップ・ディスプレイはニューBMW 4 シリーズ クーペで注目すべき装備であり、すべての重要な情報を卓越した解像度でフロント・ウィンドウのドライバーの視野内に投影します。車両の装備に応じて、現在の車速の他に制限速度や追い越し禁止区間を表示できるほか、さらにナビゲーション・システムのガイダンスやさまざまな警告も表示されます。多様なドライバー・アシスタント・システムを提供することになったため、ヘッドアップ・ディスプレイに表示できる情報もこれまでにない豊富さになりました。投影する表示の明るさは、常に周囲の明るさに合わせて自動調整されます。その際、昼間のデザインと夜間のデザインはメーターと同じように変化します。またフロント・ウィンドウのヘッドアップ・ディスプレイ表示位置は、iDrive コントローラーを使用して簡単に調整できます。

歩行者と衝突する可能性を警告するドライビング・アシスタント・プラス

ルーム・ミラーに内蔵されたカメラで車両前方を監視し、画像処理により視野に入るあらゆる歩行者や車両を検出します。前走車に衝突する危険性が迫っている場合、緊急警告音とメーター・パネルまたはオプションのヘッドアップ・ディスプレイの視覚警告表示により、ドライバーに接近し過ぎていることを警告します。システムが衝突を回避できないと判断した場合は、自動で緊急ブレーキが作動し、穏やかに減速させます。また十分な明るさのある市街地を走行しているとき、システムが歩行者との衝突の危険を検知すると、早い段階でドライバーに警告を発して、必要に応じて自動で緊急ブレーキングも行います。いずれの場合でも、警告を発すると同時に車両のブレーキ・システムはフル・ブレーキの準備が行われ、システム内の圧力を上昇させます。オプション装備されるドライビング・アシスタント・プラスには、さらにオプションでレーン・ディパーチャー・ウォーニング(車線逸脱警告システム)も提供します。

多才な機能：ストップ&ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロール

最新のストップ&ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロール(ACC ストップ&ゴー)では、フルレンジ・レーダー・センサーに加えてルーム・ミラーに内蔵されたフロント・カメラを使用して、交通状況をさらに良好に把握できるようになりました。そのため、停止と発進を頻繁に繰り返すような交通状況や渋滞時に、ドライバーは交通の流れに乗って安全に走ることができます。その際、停車と発進、前走車がすでに停止している交差点への接近などを、車両に任せて自動制御で行うことができます。レーダーとビデオ情報を組み合わせることにより、他の車両の識別能力が高まり、システムの応答が短くなります。交通の流れに乗ったまま前走車が急激に減速してドライバーの操作が必要になった場合、2 段階の警告によってドライバーに操作を要求します。自動車間距離コントロールを行うアクティブ・クルーズ・コントロールは、30km/h～210km/h までの速度で使用できるようになりました。210km/h を超えても、インテリジェント・クルーズ・コントロール機能を引き続き使用できます。

ナビゲーション・システム・プロフェッショナル／ナビゲーション・システム・ビジネスにスピード・リミット・インフォを組み合わると、ドライバーは現在走行中の道路の制限速度を容易に確認できます。フロント・カメラを利用して、追加情報表示や工事現場などの一時的な制限区域も考慮します。この場合、追越し禁止や制限速度の情報はメーター・パネルかヘッドアップ・ディスプレイに表示します。

センサーとカメラを利用:レーン・チェンジ・ウォーニング(車線変更警告)およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング(車線逸脱警告)

快適性および安全性に関係するドライバー・アシスタント・システムとして、レーン・チェンジ・ウォーニング(車線変更警告)およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング(車線逸脱警告)があります。車線逸脱警告システムは、オプションのドライビング・アシスタント・プラスに含まれています。このシステムはレーダー・センサーとモニター・カメラを利用して、車線変更時や意図せず走行車線を外れそうになったときなどの際、他車との衝突の危険を察知するとドライバーに危険を警告し、さらに先行車両に接近しすぎた場合にも警告を発します。

眩惑防止ハイビーム・アシスタント付き LED ヘッドライト

夜間走行時の安全性をさらに向上させるために、BMW 4 シリーズ クーペではフル LED ヘッドライトをオプション装備で用意しています。明るい白色光で路面を特に集中的に照らします。眩惑防止ハイビーム・アシスタントは、コーナリング・ライトおよびバリアブル・ヘッドライト・ディストリビューション機能を備えたアダプティブ・ヘッドライトと共に、夜間の安全性に関して基準を打ち立てます。ヘッドライトの眩惑防止機能は、前方から対向車が接近してきた場合、該当する車両を眩惑させないように、ピンポイントでヘッドライト・ハイビームのまぶしい領域にカバーをかけます。ただし、道路状況によって必要な場合には、ハイビーム・アシスタントはヘッドライトの片側または両側をロービームに切り換えます。

駐車時だけでなく、いつでも周囲を一望できる:

サラウンド・ビュー、サイド・ビュー、トップ・ビュー、BMW パーキング・アシスト

リヤ・ビュー・カメラとパーク・ディスタンス・コントロールに加えて、オプションのサイド・ビュー／トップ・ビュー付きサラウンド・ビュー機能を装備すると、ニューBMW 4 シリーズ クーペの周囲を運転席から一望できるようになります。この表示を利用することで、狭いスペースでも非常に正確に操車することができます。車速が 20km/h 以下の場合、ドライバーはさらにサイド・ビュー機能を作動させて、左右方向の交通状況を確認することができます。その他の快適なアシスタント・システムとして、BMW パーキング・アシストがあります。このシステムは、縦列駐車をするための駐車スペースを自動で探し、実際の縦列駐車の手動操作をドライバーに代わって行います。その際、ドライバーはアクセル・ペダルとブレーキ・ペダルの操作・監視だけを行い、ステアリング操作は BMW パーキング・アシストが受け持ちます。

アクティブ・プロテクションがドライバーの運転操作を監視

セーフティ・パッケージであるアクティブ・プロテクションは、注意力低下モニターが追加されてさらに包括的になりました。システムのコントロール・ユニットは、車両のさまざまな信号を利用してドライバーの運転操作を分析します。疲労の蓄積を示す典型的な兆候が頻発するようになると、システムがコントロール・ディスプレイにコーヒーカップのシンボルを表示して、ドライバーに休憩を促します。

安全対策に関する機能を拡張し、自動的に自車位置を検知できるエマージェンシー・コール機能が付いたセーフティ・パッケージのアクティブ・プロテクションは、万一の事故の際の影響を軽減し、乗員を保護します。車両を発進させるとすぐにアクティブ・プロテクションが作動し、走行に危険を及ぼすプリ・クラッシュ状況が発生すると、前席のシートベルトを引き締め、サイド・ウィンドウとサンルーフを閉めます。システムが衝突の危険を検知して衝突が避けられなくなると、車両が自動的にブレーキを作動させて停車し、ブレーキをロックした状態に維持します。こうすることで二次衝突の危険性を大幅に低減するか、完全に回避します。

本物のインフォテイメント:BMW コネクテッド・ドライブのその他のサービス

インフォテイメント分野の非常に高いニーズに応え、とりわけ高度なインターフェース・テクノロジーを採用することにより、市販の携帯電話やミュージック・プレーヤーを広範囲に利用できるようになります。この場合、ユーザーは BMW オンラインによって選択したサービス製品を利用できます。新世代のナビゲーション・システム・プロフェッショナルを装備すると、フリー・テキスト音声認識機能や最適化されたボイス・コントロール機能により、コネクテッド・ドライブのオフィス機能の数々の製品を完全に利用することができます。

フリー・テキスト音声認識機能では、初めてドライバーがただ話すだけで、短いテキスト・メッセージを「書く」ことができるディクテーション（口述筆記）機能が利用できるようになりました。さらに、インターネット・ベースのサービス、カレンダーの入力、ショート・メッセージなどを iDrive コントロール・ディスプレイに表示し、音声出力機能を使って読み上げさせることもできるようになりました。また、スマートフォンやミュージック・プレーヤーに収録した個人の音楽ライブラリーを利用することもできます。BMW コネクテッド・アプリを利用すれば、ウェブ・ラジオ機能 Aupeo! のサービスや Facebook、Twitter などのソーシャル・ネットワークも使えます。さらにマイ BMW リモート (My BMW Remote) のアプリを利用すると、例えば車両のロック／ロック解除やパーキング・ヒーターを遠隔操作することができます。その他に、Google マップや、Panoramio を介した情報およびオフィス・サービスや、トラベル&レジャー・プランナーなども、ニューBMW 4 シリーズ クーペの長距離ドライブでのオーナーの快適性を高めます。

7. 主要諸元

ニューBMW 4 シリーズ クーペ 428i、435i



		BMW 428i クーペ	BMW 435i クーペ
ボディ			
ドア数/座席数		2/4	2/4
全長/全幅/全高(空車時)	mm	4638 / 1825 / 1377	4638 / 1825 / 1377
ホイールベース	mm	2810	2810
トレッド幅 フロント/リヤ	mm	1545 / 1594	1545 / 1594
最低地上高		130	130
最小回転直径	m	11.3	11.3
燃料タンク容量 (約)	リッター	60	60
ヒーターを含む冷却システム容量	リッター	7.2 (7.5)	6.7 (7.2)
エンジン・オイル ¹⁾	リッター	5.75	6.5
車両重量(DIN/EU)	kg	1450/1525 (1470/1545)	1510/1585 (1525/1600)
積載量(DIN)	kg	520	520
許容総重量	kg	1970 (1990)	2030 (2045)
許容アックスル荷重 フロント/リヤ	kg	920/1105	970/1120
許容牽引荷重(12%)	kg	1600 / 745	1700 / 750
ブレーキ付き/ブレーキなし			
許容ルーフ積載荷重/許容サポート荷重	kg	75 / 75	75 / 75
ラゲージ・ルーム容量	リッター	445	445
空気抵抗	cd x A	0.29 x 2.16	0.30 x 2.16
エンジン			
型式/気筒数/バルブ数		直列/4/4	直列/6/4
エンジン・テクノロジー		BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー: ツイン・スクロール・ターボ・チャージャー、高精度ダイレクト・インジェクション・システム、無段階可変バルブ制御システム(バルブトロニック)	
排気量	cm³	1997	2979
ストローク/ボア	mm	90.1 / 84.0	89.6 / 84.0
圧縮比	:1	10.0	10.2
燃料		RON 91 以上	RON 91 以上
最高出力	kW/ps	180 / 245	225/306
発生エンジン回転数	rpm	5000-6500	5800-6000
最大トルク	Nm	350	400
発生エンジン回転数	rpm	1250-4800	1,200-5,000
電装品			
バッテリー/取付け位置	Ah/-	90/ラゲージ・ルーム	90/ラゲージ・ルーム
オルタネーター	A/W	170 / 2380	170 / 2380
ドライビング・ダイナミクスと安全性			
フロント・サスペンション		アルミ製ダブル・ジョイント・スプリング・ストラット式、ネガティブ・キャスター、スモール・ボジティブ・スクラブ・ラジアス、横力補正、ブレーキ時のピッチング補正	
リヤ・サスペンション		軽量スチール製 5 リンク式リヤ・アックスル	
フロント・ブレーキ		シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ/ベンチレーテッド	
リヤ・ブレーキ		シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ/ベンチレーテッド	
走行安定化システム		標準装備: ABS および DTC を統合した DSC、コーナリング・ブレーキ・コントロール CBC、ブレーキ・アシスタント DBC、ブレーキ・ドライビング機能、フェード補正、発進アシスト	
安全装備		標準装備: フロント・エアバッグ(運転席/助手席)、サイド・エアバッグ(運転席/助手席)、ヘッド・エアバッグ(前席/後席)、3 点式 ELR オートマチック・シートベルト(全席。前席シートベルトはベルト・ストッパー、ベルト・テンショナー、ベルト・フォース・リミッター付き)、フロント衝撃感応式アクティブ・ヘッドレスト、クラッシュ・センサー、RPA(タイヤ空気圧警告)機能	
ステアリング		サーボトロニック機能付き電気機械式ラック&ピニオン・パワー・ステアリング(EPS)、オプション: バリアブル・スポーツ・ステアリング	
ステアリング総変速比	:1	15,0	15,0
タイヤ フロント/リヤ		225/50 R17 94W	225/50 R17 94W
リム フロント/リヤ		7.5J x 17 アロイ	7.5J x 17 アロイ

BMW 428i クーペ				BMW 435i クーペ
トランスミッション				
トランスミッション型式		6 速マニュアル・トランスミッション(オプション:8 速オートマチック・トランスミッション)		
ギヤ比	1	:1	3,498 (4,714)	4.110 (4,714)
	2	:1	2,005 (3,143)	2.315 (3,143)
	3	:1	1,313 (2,106)	1.542 (2,106)
	4	:1	1,000 (1,667)	1.179 (1,667)
	5	:1	0,809 (1,285)	1,000 (1,285)
	6	:1	0,701 (1,000)	0.846 (1,000)
	7	:1	----- (0.839)	----- (0.839)
	8	:1	----- (0.667)	----- (0.667)
	R	:1	3,187 (3,295)	3.727 (3,295)
最終減速比		:1	3.909 (3,154)	3.231 (3,154)
走行性能				
パワー・ウェイト・レシオ	kg/kW		8,1 (8,2)	6,7 (6,8)
リッターあたり出力	kW／リッター		90.1	75.5
加速性能	0-100km/h	秒	5.9(5.8)	5,4 (5,1)
	0-1,000m	秒	25,4 (25,6)	24,3 (24,2)
4 速／ 5 速 ギヤ	80-120km/h	秒	5,3 / 6,9 (-)	5,0 / 5,9 (-)
最高速度	km/h		250 (250)	250 (250)
BMW EfficientDynamics				
BMW EfficientDynamics 対策(標準装備)		ブレーキ・エネルギー回生システム、電動パワー・ステアリング、オート・スタート・ストップ機能、シフト・ポイント・インジケーター(マニュアル・トランスミッション車)、ECO PRO モード、インテリジェント・ライトウェイト構造、補機類のオンデマンド制御、特性マップ制御式オイル・ポンプ、ウォームアップ特性を最適化したファイナル・ドライブ、低転がり抵抗タイヤ		
EU テスト・サイクルでの燃費 ²⁾				
標準タイヤ装着:				
市街地	リッター／100km		8,8 (8,1)	11,1 (10,2)
郊外	リッター／100km		5,3 (5,2)	6,1 (5,5)
合計	リッター／100km		6,6 (6,3)	7,9 (7,2)
CO ₂ 排出量	g/km		154 (147)	185 (169)
排ガス基準			EU6	EU6
保険等級				
KH/VK/TK			17 / 23/ 27	17 / 25/ 27

本主要諸元は ACEA (欧州自動車工業会) 市場に適用 / 登録関連の一部データはドイツにのみ適用 (重量)
括弧内の数値はオートマチック・トランスミッション車

¹⁾ オイル交換量

²⁾ 燃費および CO₂ 排出量は装着したタイヤの種類によって異なる

ニューBMW 4 シリーズ クーペ 428i xDrive、435i xDrive



BMW 428i xDrive クーペ		BMW 435i xDrive クーペ
ボディ		
ドア数/座席数	2/4	2/4
全長/全幅/全高(空車時)	mm 4638 / 1825 / 1392	4638 / 1825 / 1392
ホイールベース	mm 2810	2810
トレッド幅 フロント/リヤ	mm 1544 / 1590	1544 / 1590
最低地上高	145	145
最小回転直径	m 11.8	11.8
燃料タンク容量 (約) リッター	60	60
ヒーターを含む冷却システム容量 リッター	7.2 (7.5)	6.7 (7.2)
エンジン・オイル ¹⁾ リッター	5.75	6.5
車両重量(DIN/EU)	kg 1540/1615	1590/1665
積載量(DIN)	kg 520	520
許容総重量	kg 2080	2110
許容アックスル荷重 フロント/リヤ	kg 980/1115	1030/1120
許容牽引荷重(12%)	kg 1700 / 750	1800 / 750
ブレーキ付き/ブレーキなし		
許容ルーフ積載荷重/許容サポート荷重	kg 75 / 75	75 / 75
ラゲージ・ルーム容量 リッター	445	445
空気抵抗	c _x x A 0.30 x 2.16	0.30 x 2.16
エンジン		
型式/気筒数/バルブ数	直列/4/4	直列/6/4
エンジン・テクノロジー	BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー: ツイン・スクロール・ターボ・チャージャー、高精度ダイレクタ・インジェクション・システム、無段階可変バルブ制御システム(バルブトロニック)	
排気量	cc 1997	2979
ストローク/ボア	mm 90.1 / 84.0	89.6 / 84.0
圧縮比	:1 10.0	10.2
燃料	RON 91 以上	RON 91 以上
最高出力	kW/ps 180 / 245	225/306
発生エンジン回転数	rpm 5000-6500	5800-6000
最大トルク	Nm 350	400
発生エンジン回転数	rpm 1250-4800	1,200-5,000
電装品		
バッテリー/取付け位置	Ah/- 90/ラゲージ・ルーム	90/ラゲージ・ルーム
オルタネーター	A/W 170 / 2380	170 / 2380
ドライビング・ダイナミクスと安全性		
フロント・サスペンション	アルミ製ダブル・ジョイント・スプリング・ストラット式、ネガティブ・キャスター、スモール・ボジティブ・スクラブ・ラジアス、横力補正、ブレーキ時のピッチング補正	
リヤ・サスペンション	軽量スチール製 5 リンク式リヤ・アックスル	
フロント・ブレーキ	シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ/ベンチレーテッド	
リヤ・ブレーキ	シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ/ベンチレーテッド	
走行安定化システム	標準装備: 四輪駆動システム xDrive、ABS および DTC(ダイナミック・トラクション・コントロール)を統合した DSC、コーナリング・ブレーキ・コントロール CBC、ブレーキ・アシスタント DBC、ブレーキ・ドライビング機能、フェード補正、発進アシスト	
安全装備	標準装備: フロント・エアバッグ(運転席/助手席)、サイド・エアバッグ(運転席/助手席)、ヘッド・エアバッグ(前席/後席)、3 点式 ELR オートマチック・シートベルト(全席。前席シートベルトはベルト・ストッパー、ベルト・テンショナー、ベルト・フォース・リミッター付き)、フロント衝撃感応式アクティブ・ヘッドレスト、クラッシュ・センサー、RPA(タイヤ空気圧警告)機能	
ステアリング	サーボトロニック機能付き電気機械式ラック&ピニオン・パワー・ステアリング(EPS)、オプション: バリアブル・スポーツ・ステアリング	
ステアリング総変速比	:1 15,0	15,0
タイヤ フロント/リヤ	225/50 R17 94W	225/50 R17 94W
リム フロント/リヤ	7.5J x 17 アロイ	7.5J x 17 アロイ

BMW 428i xDrive クーペ				BMW 435i xDrive クーペ
トランスミッション				
トランスミッション型式		8 速オートマチック・トランスミッション		
ギヤ比	1	:1	4.714	4.714
	2	:1	3.143	3.143
	3	:1	2,106	2,106
	4	:1	1.667	1.667
	5	:1	1.285	1.285
	6	:1	1.000	1.000
	7	:1	0.839	0.839
	8	:1	0.667	0.667
	R	:1	3.295	3.295
最終減速比		:1	3.154	3.154
走行性能				
パワー・ウェイト・レシオ	kg/kW		8.6	7.1
リッターあたり出力	kW／リッター		90.1	75.5
加速性能	0-100km/h	秒	5.8	4.9
	0-1,000m	秒	25.6	24.3
4 速／ 5 速 ギヤ	80-120km/h	秒	-	-
最高速度	km/h		250	250
BMW EfficientDynamics				
BMW EfficientDynamics 対策 (標準装備)		ブレーキ・エネルギー回生システム、電動パワー・ステアリング、オート・スタート・ストップ機能、シフト・ポイント・インジケーター (マニュアル・トランスミッション車)、ECO PRO モード、インテリジェント・ライトウェイト構造、補機類のオンデマンド制御、特性マップ制御式オイル・ポンプ、ウォームアップ特性を最適化したファイナル・ドライブ、低転がり抵抗タイヤ		
EU テスト・サイクルでの燃費 ²⁾				
標準タイヤ装着:				
市街地	リッター／100km		8,7	10,8
郊外	リッター／100km		5.5	5.8
合計	リッター／100km		6.7	7.6
CO ₂ 排出量	g/km		157	178
排ガス基準			EU6	EU6
保険等級				
KH/VK/TK			17 / 23/ 27	17 / 25/ 27

本主要諸元は ACEA (欧州自動車工業会) 市場に適用 / 登録関連の一部データはドイツにのみ適用 (重量)
括弧内の数値はオートマチック・トランスミッション車

¹⁾ オイル交換量

²⁾ 燃費および CO₂ 排出量は装着したタイヤの種類によって異なる

BMW 420di クーペ			
ボディ			
ドア数／座席数			2/4
全長／全幅／全高(空車時)	mm		4638 / 1825 / 1377
ホイールベース	mm		2810
トレッド幅 フロント／リヤ	mm		1545 / 1594
最低地上高			130
最小回転直径	m		11.3
燃料タンク容量 (約)	リッター		57
ヒーターを含む冷却システム容量	リッター		7.0
エンジン・オイル ¹⁾	リッター		5.2
車両重量(DIN/EU)	kg		1450/1525 (1465/1540)
積載量(DIN)	kg		520
許容総重量	kg		1970 (1985)
許容アクスル荷重 フロント／リヤ	kg		925/1100
許容牽引荷重(12%)	kg		1600 / 745
ブレーキ付き／ブレーキなし			
許容ルーフ積載荷重／許容サポート荷重	kg		75 / 75
ラゲージ・ルーム容量	リッター		445
空気抵抗	cd × A		0.28 x 2.16
エンジン			
型式／気筒数／バルブ数			直列/4/4
エンジン・テクノロジー	BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー: 可変インターク・ジオメトリー式ターボ・チャージャー、電磁バルブ式インジェクターによるコモンレール式ダイレクト・インジェクション、最大噴射圧: 1800bar		
排気量	cc		1995
ストローク／ボア	mm		90.0 / 84.0
圧縮比	:1		16.5
燃料			軽油
最高出力	kW/ps		135 / 184
発生エンジン回転数	rpm		4000
最大トルク	Nm		380
発生エンジン回転数	rpm		1750 - 2750
電装品			
バッテリー／取付け位置	Ah/-		90/ラゲージ・ルーム
オルタネーター	A/W		170 / 2380
ドライビング・ダイナミクスと安全性			
フロント・サスペンション	アルミ製ダブル・ジョイント・スプリング・ストラット式、ネガティブ・キャスター、スモール・ポジティブ・スクラブ・ラジラス、横力補正、ブレーキ時のピッチング補正		
リヤ・サスペンション	軽量スチール製 5 リンク式リヤ・アクスル		
フロント・ブレーキ	シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ／ベンチレーテッド		
リヤ・ブレーキ	シングル・ピストン・フローティング・キャリパー・ディスク・ブレーキ／ベンチレーテッド		
走行安定化システム	標準装備: ABS および DTC を統合した DSC、コーナリング・ブレーキ・コントロール CBC、ブレーキ・アシスタント DBC、ブレーキ・ドライビング機能、フェード補正、発進アシスト		
安全装備	標準装備: フロント・エアバッグ(運転席／助手席)、サイド・エアバッグ(運転席／助手席)、ヘッド・エアバッグ(前席／後席)、3 点式 ELR オートマチック・シートベルト(全席。前席シートベルトはベルト・ストッパー、ベルト・テンショナー、ベルト・フォース・リミッター付き)、フロント衝撃感応式アクティブ・ヘッドレスト、クラッシュ・センサー、RPA(タイヤ空気圧警告)機能		
ステアリング	サーボトロニック機能付き電気機械式ラック&ピニオン・パワー・ステアリング(EPS)、オプション: バリアブル・スポーツ・ステアリング		
ステアリング総変速比	:1		15.0
タイヤ フロント／リヤ			225/50 R17 94W
リム フロント／リヤ			7.5J x 17 アロイ

BMW 420di クーペ			
トランスミッション			
トランスミッション型式		6 速マニュアル・トランスミッション(オプション:8 速オートマチック・トランスミッション)	
ギヤ比	1	:1	4.110 (4.714)
	2	:1	2.248 (3.143)
	3	:1	1.403 (2,106)
	4	:1	1.000 (1.667)
	5	:1	0.802 (1.285)
	6	:1	0.659 (1.000)
	7	:1	----- (0.839)
	8	:1	----- (0.667)
	R	:1	3.727 (3.295)
最終減速比		:1	3,231 (2.813)
走行性能			
パワー・ウェイト・レシオ	kg/kW		10,7 (10,9)
リッターあたり出力	kW／リッター		67.7
加速性能	0-100km/h	秒	7,5 (7,3)
	0-1,000m	秒	27,9 (27,7)
4 速 / 5 速 ギヤ	80-120km/h	秒	5,9 / 7,5 (-)
最高速度	km/h		240 (232)
BMW EfficientDynamics			
BMW EfficientDynamics 対策(標準装備)	ブレーキ・エネルギー回生システム、電動パワー・ステアリング、オート・スタート・ストップ機能、ECO PRO モード、インテリジェント・ライトウェイト構造、補機類のオンデマンド制御、ウォームアップ特性を最適化したファイナル・ドライブ、低転がり抵抗タイヤ		
EU テスト・サイクルでの燃費 ²⁾			
標準タイヤ装着:			
市街地	リッター／100km		5,8 (5,4)
郊外	リッター／100km		4,1 (4,1)
合計	リッター／100km		4,7 (4,6)
CO ₂ 排出量	g/km		124 (121)
排ガス基準	EU6		
保険等級			
KH/VK/TK			20 / 24 / 27

本主要諸元は ACEA(欧州自動車工業会)市場に適用／登録関連の一部データはドイツにのみ適用(重量)
括弧内の数値はオートマチック・トランスミッション車

¹⁾ オイル交換量

²⁾ 燃費および CO₂ 排出量は装着したタイヤの種類によって異なる